

# 令和5年度東京善意銀行

## 福祉施設が希望する寄附等内容アンケート 調査結果報告

### 東京善意銀行の事業

都民・企業・団体の皆様の「社会のために何かをしたい」という善意を活かすために、昭和39年に設立され、平成17年度より社会福祉法人東京都社会福祉協議会において運営しています。

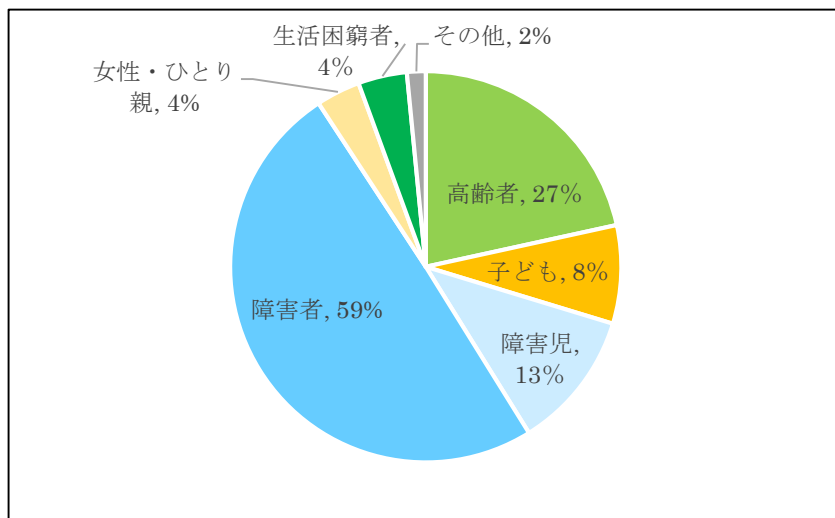
現金、物品、催物の招待券などの寄附を受け入れ、寄附者の意向や施設の希望に合うよう調整し都内福祉施設に配分しています。

【令和4年度配分実績】現金 139 団体、物品 4,513 団体、招待 2,026 団体

### 1 調査の概要

- 目的 配分の実施にあたり、福祉施設の要望等を把握し、施設への寄附の案内や寄附者への情報提供に活用するため
- 対象 東京善意銀行に登録している1,785施設  
※過去の調査に長期間回答のない施設は、今年度の調査対象外としています
- 調査期間 令和5年8月1日～令和5年9月30日
- 調査方法 オンラインフォーム、郵送
- 回答率（回答数） 86.7%（1,547施設）

### <回答施設の事業分野>

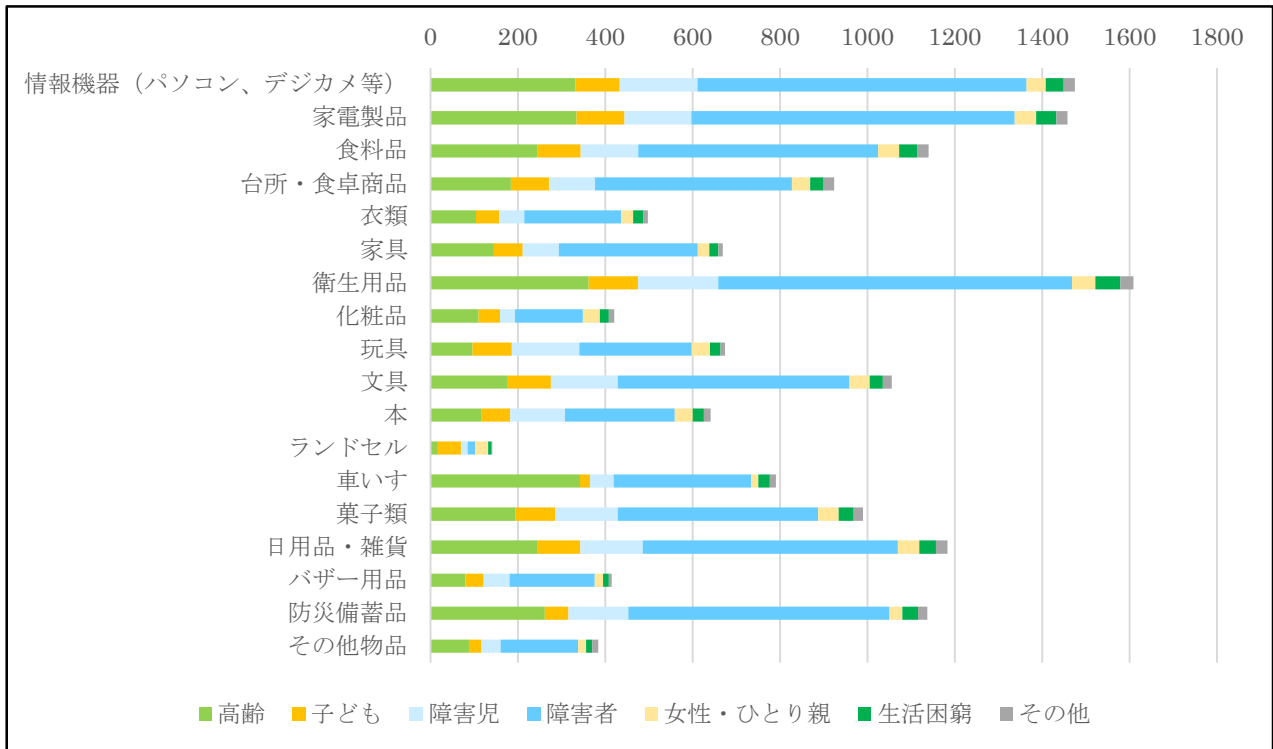


### 【主な施設】

- （高齢者）特別養護老人ホーム、デイサービス
- （子ども）児童養護施設、自立援助ホーム、乳児院
- （障害児）児童発達支援、放課後等デイサービス
- （障害者）就労継続支援、生活介護
- （女性・ひとり親）母子生活支援施設、婦人保護施設
- （生活困窮者）救護施設、無料定額宿泊所

## 2 希望する物品寄附の種類・内容

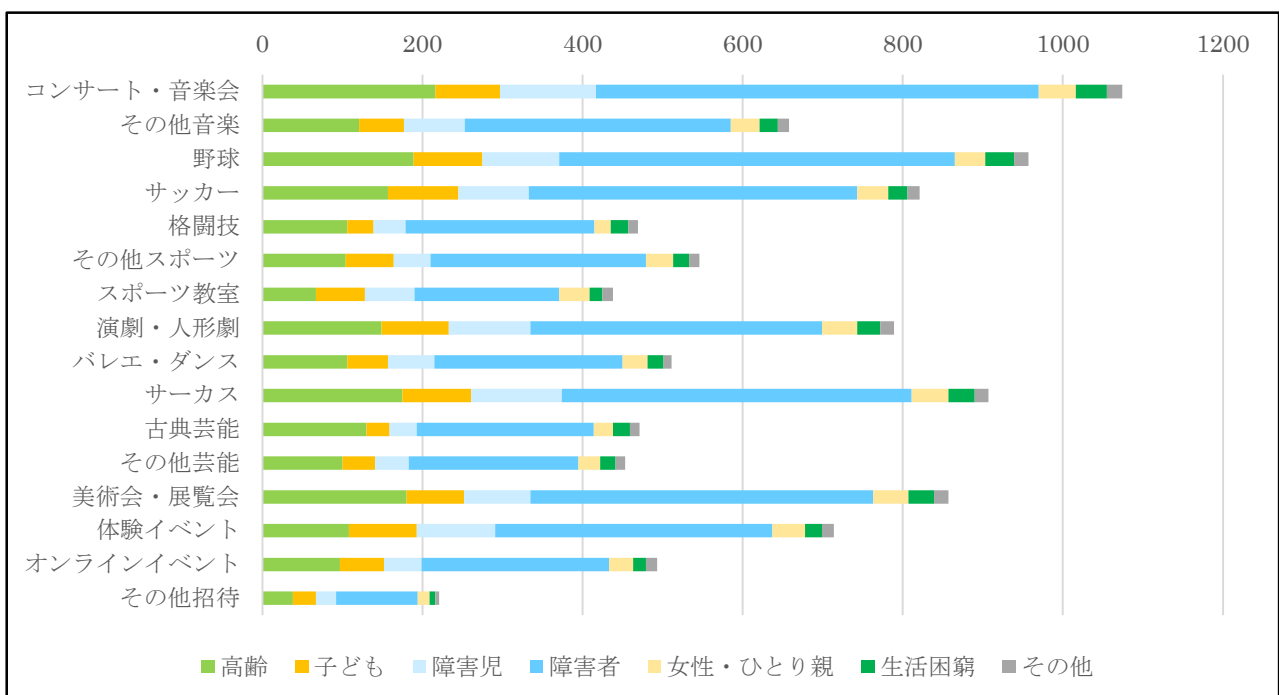
ほぼすべての施設が寄附を希望している。最も希望が多いのは、マスク・消毒液等の「衛生用品」で、すべての事業分野で第1位となっている。「家電製品」、「情報機器」の希望も多い。



○自動車の寄附を希望している施設は、全体の4割だった。

## 3 希望する招待寄附の種類・内容

8割の施設が寄附を希望している。最も希望が多いのは、「コンサート・音楽会」である。「野球やサッカー等のスポーツ観戦」、「サーカス」、「美術会・展覧会」の希望も多い。



招待寄附を希望しない2割の施設に、希望しない（参加が困難である）理由を確認したところ、「付添者の調整が難しい」が最も多く、次いで「感染対策のため外出を控えている」であった。

#### （その他の参加が困難である理由）

- ・開催場所は都心が多く、体力的に長時間の移動が困難な利用者が多い
- ・会場までの交通費の支出が困難な利用者が多い
- 多摩エリアの施設から意見多数
- ・開催日が土日、夜間のイベントが多く、職員が同行できない
- ・一般の方もいる鑑賞会等の場合、静観できる方という条件が記載されており、利用者の特性（声を出したり、離席してしまう可能性がある）により参加が難しい
- ・医療機器を利用する方の会場受け入れが難しいと思われる
- ・参加希望はあっても、車いす席や移乗可能席がないため申込みできない
- ・車いす利用で公共交通機関使用が難しいが、駐車場がない会場が多い
- ・精神障害をもつ利用者は、体調の波があり参加確約が難しい
- ・聴覚障害をもつ利用者に対する観劇やコンサートなどの情報保障に不安がある
- 参加に障壁や不安があり、申込みができない場合も多い

## 4 寄附への要望・寄附者に伝えたいこと

### <高齢者のための事業>

- ・施設内は引き続き感染症対策が必要であり、衛生用品は必需品である。物価高騰などで必要備品であっても購入費用の捻出が大変なので、寄附いただけて助かっている。
- ・当法人は経営上厳しい環境にあるため、寄附は大変ありがたい。環境が改善したら、さまざまな機会です社会貢献していきたい。

### <子どものための事業>

- ・芸術・文化やスポーツなどの活動をする機会が少なかった子どもが多いため、施設にいる間に、さまざまな体験の機会を提供いただけるとありがたい。
- ・寄附者の皆様を通じて、社会全体で支援を必要としている子どもを支えるという意識が醸成されることを期待している。

### <障害がある子どものための事業>

招待イベントは、日頃外出が困難な子どもを抱える家庭にとって安心して出かけられる場所となっており、とても助かるとの声がある。

### <障害がある人のための事業>

- ・招待イベントに参加することで、コミュニケーションの練習や家から出るきっかけ、友人を作る、ストレスの発散など、利用者達は多くのことを身につけている。

・寄附者や企業の社員との交流、つながりができれば良い。「福祉」を知っていただくと同時に、福祉施設職員や利用者も、福祉以外の社会を知ることができる機会となると良い。

#### <女性・ひとり親家庭のための事業>

お金や物品の寄附以外にも、企業がもつ「技術」や「知識」を提供いただくサポートがあると良い。

#### <生活困窮者のための事業>

光熱費や食材費、ガソリン代等の値上がりにより、最終的に利用者に提供するサービスの質の低下につながる恐れがある。

多くの福祉施設では、下記のような「**利用者の経験や生活の幅が広がるきっかけとなる寄附**」、「**厳しい経営状況・物価高の環境であっても、利用者に提供するサービスの質の維持に役立つ寄附**」を望んでいます。

- ①外出が困難な方にも施設内で楽しんでもいただける活動  
(企業・団体が施設を訪問してレクリエーションを行ったり、体験の機会を提供する、オンラインイベントの開催等)
- ②利用者の生活や活動の質を高める物品を購入するための資金援助
- ③コロナ禍により減少した利用者の交流活動への助成
- ④衛生用品等の日常的に必要な物品の寄附
- ⑤日頃体験の機会が少ない施設利用者が参加できるイベントへの招待

引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京善意銀行  
〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 3 階  
(電話) 03-5283-6890 (FAX) 03-5283-6997  
(メール) zengin@tcs.w.tvac.or.jp



善銀キャラクター  
ともしびちゃん